平成31(2019)年度 江戸川区立北小岩小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標

○心豊かでやさしい子 ○よく考え表現する子 ○体をきたえ元気な子

目指す学校像

○当たり前を大切にする学校づくり 一挨拶・笑顔・感謝ー

目指す児童像 目指す教師像 ○「挨拶・笑顔・感謝」を合言葉に、友達との関わりを大切にし、主体的に取り組む子

○児童・保護者・地域の信頼に応える教師 ○教育のプロとして授業で勝負する教師

前年度までの学校経営上の 成果と課題

<成果> 学力向上・・・東京都学力調査において、社会科・理科において都の平均正答率を上回った。算数科においても都平均と同レベルであった。 体力向上・・・体力テストにおいて、体力合計点で、4年生以上の男女、2年生男女、3年女子が、全国平均を上回った。

指導力向上・・・読書科、総合的な学習の時間、外国語活動についての校内研修会を実施し、日々の実践に生かし、授業力を高めることができた。 <課題> 江戸川区教育委員会指導室が掲げる重点事業に対しての理解を深め、一層の充実を目指すとともに、校務改善を通して働き方改革を図っていく必要がある。

家庭・地域とのより一層の連携。家庭・地域への情報発信。

教育委員会 重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	改善策
特色ある教育の展開		「なかよし班活動」「人権の花運動」への取組による 長敬の念や思いやりの心の育成	なかよし班活動・・・月1回以上 人権の花の栽培・・・年間継続	児童アンケート結果向上率 +10%	А	А	○「人権の花運動」とたてわり班を連動させた全校的な取組ができた。 ○上級生が下級生に優しく接している。	А	○「人権の花運動」とたてわり班を連動させた全校的な取組ができた。	上級生と下級生の温かい関わり 合いを次年度も継続していく。
		「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	相互授業研修会…年2回 部活動体験·授業体験…各年1回 合同地域清掃…夏季休業中1回	東京ベーシックドリル 達成率 +10%	В	В	○児童・生徒の関わる取組ができてきた。○基本習慣のスタンダードを作成した。●各教科の連携教育プログラムの見直し。	В	○小中の歩み寄りができてきた。○基本習慣のスタンダードを作成した。●小中教員のスタンスの違いを埋める。	小中連携地域スタンダードを周知徹底し、地域へも協力を求める。
	俳句指導の充実	俳句指導による思考力・表現力の向上	俳句の作成…年4回以上 句会…年2回以上 俳句コーナーの更新・・・年4回以上	児童アンケート結果向上率 +10%	В	В	○本校の特色ある取組として通年にわたり計画的に指導できた。●指導時間の位置付けの統一。	В	○本校の特色ある取組として通年にわたり 計画的に指導できた。●「北小岩タイム」に学年の特色を生かす。	発達段階に応じた指導を継続 し、俳句への興味関心をさらに 高める。
教員の資質向上		ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICT を活用した教員の授業力の向上	ICTを活用した授業回数…週1回 以上	児童アンケート結果向上率 +10%	В		○ICT機器は週1回以上活用できた。 ○ラインズと連携し、プログラミング教育の初歩 的な研修や授業を行い、スキルを高めた。	В	○授業等でタブレットPC等の活用頻度を 増やし、児童が有効活用できるようになっ て欲しい。	PC活用以外でも、プログラミング的思考ができるような授業を展開する。
	特別支援教育の更な る充実	「特別支援教育校内研修会」等の実施による教員 の指導力の向上	管理職、コーディネーター、特別支援指導担当教員による特別支援教育研修… 学期に2回以上	「Q-U」学級満足度 要支援群出現率 -10%	В	В	○研修により個々の理解が深まった。 ○Q-Uを生かし、学級内の要支援の児童に組 織的な指導ができた。	А	○様々な児童の個性を受け止めて、指導 できている。	校内の研修機会を増やし、イン クルーシブ教育の指導を工夫し ていく。
		主幹教諭・主任教諭から若手教員への研修会の 実施による学習指導・生活指導力の向上	授業研究会…一人月1回以上	東京ベーシックドリル 達成率 +10%	В		○主幹・主任が授業を積極的に公開するなど、 若手育成のOJTを計画的に実施した。 ●授業研究会の協議の活発化。	А	○探究的な見方・考え方を育成する授業 改善に若手教員が努力できたようだ。	引き続き、計画的に若手教員を 中心に育成する。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	補習の実施や東京ベーシックドリルの活用による きめ細やかな指導の充実と授業力の向上	継続的な補習教室…年35回以上 東京ベーシックドリル診断シート…年3回	東京ベーシックドリル 達成率 +10%	А	В	○計画的に補習教室や診断テストを実施した。○補習により、底辺層の一定の成果が見られた。●言語や作文に課題のある児童への対応。	А	○都の学力調査でも、理科以外は都の平均点を上回った。全体的に学力向上傾向にあってよい。	理科についても、課題解決的な 学習予定を計画的に作成し、児 童の学力向上に努める。
		学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充 実、校内研究における授業研究会の充実	探究的な学習…年2回以上 図書館を活用する授業…週1回以上 授業研究会…年2回以上	児童アンケート結果向上率 +10%	В	В	○学校図書館を整備し、活用するクラスが増えた。○読書科の研究を通して、年間計画が明確になった。●読書科の指導方法のさらなる充実。	В	○本好きの児童が多いのは良いこと。図書 館環境の整備等は、学校応援団でさらに 協力したい。	全国学校図書館スーパーバイ ザーからいただいたアドアイスを 読書科の授業に生かしていく。
		体育の授業や休み時間における主体的な運動の 実施による運動意欲の向上	運動遊びの実施…年35回以上 体育授業の改善…運動時間+5分	体力テスト体力合計点 全学年で東京都を上回る 水泳指導前年度比進級率…90%	В		○中休みにおける運動遊びや各種の運動週間を充実させることができた。●たてわり班での運動遊びの実施。	В	○中休みにおける運動遊びや各種の運動 週間を充実させることができた。	体育科の授業改善を全校体制 で図る。運動遊びの工夫を図 る。
		「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」 の3つの視点を踏まえた取組の充実	オリ・パラコーナー更新…学期2回以上 オリ・パラ朝会…月1回	児童アンケート結果向上率 +10%	В	В	○オリ・パラコーナー、オリ・パラ朝会の内容を 精選し、計画的に実施した。●関連を意識した授業の実施。	В	○タッチラグビー選手との交流やオリパラ朝会の工夫がよかった。	パラ陸上、パラ水泳の観戦に向 け、児童の興味関心を高める。
		ALTの有効活用による「生きた英語」に触れる機会の充実とコミュニケーション力の向上	ALTと児童との会話…毎時間1回以上 実践推進校による授業研究への参加…年2回 クラスルームイングリッシュの掲示・更新…学期1回以上	児童アンケート結果向上率+10%	В	В	○ALTや児童相互でのコミュニケーションの基盤ができた。 ●どの教員も活用できる教材の整備。	В	○外国の方々と友好な人間関係を築く大切さを理解し、だれとでもコミュニケーションを取ろうとする態度が見られた。	担任をT1、ALTをT2として授業の充実をさらに図る。
相談体制 健全育成の充実	健全育成の充実	児童の生活習慣や情報モラル意識の向上	いじめや生活習慣、情報モラルに関する 授業回数…学期1回以上	児童アンケート結果向上率 +10% 「Q-U」学級満足度 要支援群出現率 -10%	В	В	○ふれあい月間で全クラス実施した。●保護者も巻き込んだ情報モラル教育の充実。	В	情報モラルに関わるトラブルを回避できる 力を育成して欲しい。	「SNS東京ルール」に基づいた、スタンダードを作り、児童、保護者にも周知徹底していく。